

イグサ「ひのみどり」の栽培特性

湯野康博・岡村康博¹⁾・橋本 充
(熊本県農業研究センターい業研究所・¹⁾ 熊本県農政部)Yasuhiro YUNO, Yasuhiro OKAMURA and Mitsuru HASHIMOTO:
Effects of Cultivated Conditions on the Characteristics of Mat Rush Cultivar "Hinomidori"

イグサ品種「ひのみどり」は、品種特性が草型：直立型、茎長：やや短、1株の長茎数：多、長茎乾重：重、茎の太さ：極細、花房の多少：極少であり²⁾、高品質量表に適した品種として1998年に熊本県において普及に移された。「ひのみどり」が高品質量表に適するのは、一つには茎の太さが極細なことによる。そこで、茎の太さに重点をおいて、1996年からこれまでの「ひのみどり」栽培に関する試験結果から、「ひのみどり」の栽培特性に関して若干の知見を得たのでここに報告する。

1. 材料および方法

品種は「ひのみどり」と「岡山3号」(対照品種)を供試した。各種調査は、いぐさ調査基準¹⁾に従った。

1) 作期が茎の太さおよび収量に及ぼす影響

1996年と1997年、い業研究所圃場において極早刈、早刈および普通刈の3作期(第1表)で栽培した。植付茎数は両品種約8本であった。

2) 植付苗の大きさが茎長および収量に及ぼす影響

い業研究所圃場において普通刈作期(第1表)で栽培した、植付茎数8本の1996年産と12本の2000年産の「ひのみどり」を、各年の「岡山3号」を基準として比較した。なお、植付苗の乾物重は、「ひのみどり」12本と「岡山3号」8本とではほぼ同じである³⁾。

3) 総窒素施用量と茎の太さとの関係

1996~1998年、熊本県内現地5カ所で普通刈栽培を実施し、総窒素施用量と茎の太さとの関係を検討した。

4) 春期の水管理と先刈条件が茎長および収量に及ぼす影響

1996~1998年、熊本県内現地5カ所で普通刈栽培を実施し、従来の品種で茎を細くするため春期に圃場を乾燥させ早く低く先刈りする管理方法と通常の間断灌水、先刈を行う方法を比較検討した。

2. 結果および考察

1) 作期が茎の太さおよび収量に及ぼす影響

「ひのみどり」の茎の太さは、普通刈栽培では極細であったが、極早・早刈栽培では太くなり、その太さは普通刈の「岡山3号」並みの太さであった(第1図)。また、「ひのみどり」は普通刈に比べて極早刈栽培では収量が少なかった。

2) 植付苗の大きさが茎長および収量に及ぼす影響

植付茎数8本では初期生育はやや劣り、株枯れの発生がみられたが、植付茎数12本では株枯れは少なく生育は良好であった。また、植付茎数12本では、茎長が「岡山3号」並み、収量が「岡山3号」よりやや多かった(第2図)。なお、茎の太さは植付茎数8本と12本とで差はなく、細かった。

3) 総窒素施用量と茎の太さとの関係

各年次、場所を通じて「ひのみどり」の茎の太さは、

「岡山3号」より0.1mm程度細かった。また、「ひのみどり」、「岡山3号」はともに、総窒素施用量が多くなるに従い茎が太くなる傾向にあった(第3図)。

4) 春期の水管理と先刈条件が茎長および収量に及ぼす影響

水管理は間断灌水、収穫前60~65日に高さ40~45cmで先刈りする通常管理では、「岡山3号」に比べて「ひのみどり」の収量は多いが、圃場が乾燥し早い時期に低目(高さ30cm)に先刈りする管理方法では、「岡山3号」に比べて「ひのみどり」の茎長は短く、収量は少なかった。

5) まとめ

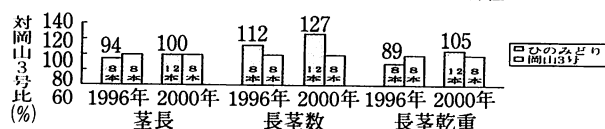
茎の細い「ひのみどり」を多収生産するためには、作期は普通刈栽培、植付茎数は約12本の大苗で、総窒素施用量は50kg/10a以下、春期は間断灌水、先刈高さは40~45cmで管理をすることが肝要と言える。なお、いずれの試験でも、「ひのみどり」の花房の多少は極少であった。

引用文献

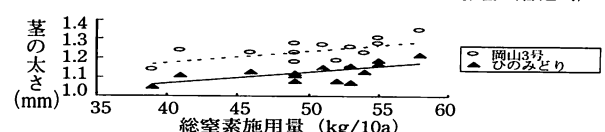
- 1) 九農研水田作推進部会いぐさ分科会・九農試：いぐさ関係用語及び調査基準、2000。
- 2) 中澤芳則・手塚隆久・飯牟禮和彦・湯野康博・高森幸光：熊本県農業研究センター研究報告 8, 47-53, 1999。
- 3) 熊本県農業研究センターい業研究所：いぐさ育種試験成績書 9, 79-80, 2002。

第1表 各作期の耕種概要

作期	植付日	栽植様式 (cm)	先刈日	先刈高さ (cm)	収穫日	総窒素施用量 (kg/10a)
極早刈	11月15日	21×16.5	4月16日	40	6月15日	43
早刈	11月30日	21×16.5	4月26日	45	6月30日	43
普通刈	12月15日	21×17.0	5月11日	45	7月15日	45

第1図 作期が茎の太さに及ぼす影響 (1997, 1998年産)
注) 茎長105~120cmの根元から50cm部位

第2図 植付茎数が茎長および収量に及ぼす影響 (普通刈)



第3図 窒素施用量と茎の太さとの関係

注) 1996~1998年産普通刈, 茎長105~120cm